

阿久根市教育振興基本計画に関するパブリックコメント手続きの実施結果について

- 1 意見の募集期間 平成28年3月3日から同年3月25日まで
- 2 意見の提出者数 1人
- 3 意見の件数 7件

A	策定案に反映できるもの	件
B	策定案に一部反映できるもの	3件
C	既に盛り込み済みのもの	1件
D	今後の参考となるもの	件
E	反映できないもの	1件
F	その他感想や質問など	2件

※ 詳細につきましては、別紙のとおりです。

ページ	ご意見の内容（原文のまま）	市の考え方（回答及び対応）
8	<p>地域ボランティア、地域リーダー養成、公民館活動を展開する必要があるについて</p> <p>ぜひ、スタートのきっかけを作り、市民の自主活動につなげてほしいです。（私も参加したいです）</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市では、生涯学習講座や社会教育学級などを開催するなかから、ボランティアの育成や地域のリーダーづくり、その方々が中心となった公民館活動の展開を考えております。今後、高齢化が進むことを考えると、ボランティアの育成や地域のリーダーづくりは急務であると言えます。それらを考えた講座の創設を行いたいと思います。（F）</p>
11	<p>ニーズ調査</p> <p>募集期間の記載がない。募集時期によって環境は違うので記載が必要です。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>調査期間の記載がないとのことだと思います。この調査は、各学校や保育園等を通じ配布し、平成27年9月1日を基準として概ね10日までの間で集約をしております。その旨、記載します。（B）</p>
16	<p>統廃合についてのアンケート結果</p> <p>「現行のままが最も多くなりました」と結論付けていますが、小中学校の、現行のままへの回答は299、通学区域の見直しや統合16+近隣の学校と統合130=292であることから、「現状への変化を求める」声が「現行のまま」とほぼ同数とみるべきではないでしょうか。</p> <p>ミスリード（誤った解釈に誘導するような文章のこと。長所と短所があるときに、短所しか語らない、長所しか語らないで相手の判断を誤らすような行為や全体の一部分を拡大解釈して、全体に言えるような印象を与えること）していると考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>小学校・中学校の保護者では、ご意見のとおり、保育園・認定こども園の保護者では、現行のまま98、通学区域の見直しや統合、近隣の学校と統合が合計96となるようです。単純に一つの回答で最も多くなったとしたものであり、あえてミスリードを狙ったものではありませんが、ご意見をふまえ、記載内容を下記のとおり見直しを行います。</p> <p>「現行のまま」の回答数と「通学区域の見直しや統合」「近隣の学校と統合」の二つを合計した回答数がほぼ同数となりました。保護者のご意見が二分する結果となっています。（B）</p>

19	<p>文末「ではと思います。」 P18は「と思われます。」とあります。結論の推定は「と思われます。」と書くほうが良いのではないのでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、修正します。 修正前 回答が出されたものではと思います。 修正後 回答が出されたのではと思われます。(B)</p>
25	<p>体験活動の充実 コミュニケーション、表現力、学力の定着としても子供同士の教えあいが有効のようです。(参考*1)、阿久根市でも子供同士で結論を導く作業や、教えあう機会を同学年または、上級生が下級生にする機会を増やすことを提案します。 (または、P27 確かな学力の定着に入れることを提案します)</p> <p>参考*1 本：子供が自立できる教育(小学館 岡田尊司 阿久根市立図書館にあります。多くの説明の中にオランダの学力に対する教育、恋愛の教育など説明があり示唆に富んでいます)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 市では、生涯学習課が主催する「あくねキッズスクール」や「ぼんたん学寮」などにより、違う学校の子ども同士や異なる学年の子どもの触れ合いを行っており、そのなかで、コミュニケーション、表現力の向上、上級生と下級生の交流等を行っています。計画では、P40になります。(C)</p>
29	<p>キャリアプランとともに人生設計が必要だと思います。人生設計を加える。(参考*2)</p> <p>参考*2 三重県子どもスマイルネット http://www.shoshika.pref.mie.lg.jp/ondemand/lifeplan.html</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 参考とされた「みえ子どもスマイルネット」も確認させていただきました。 ライフプランのなかでは、老年期に至るまでの人生設計を図示化するなどし、子どもにわかりやすい資料だと思います。 計画では、キャリア教育の推進のなかで、「学び」と「実社会」の結びを通して、自らが自らの生き方を勉強していくこととしています。子ども達にとっては、そのような教育を通して、次第に人生設計をしていくものと思っておりますのでご理解ください。(E)</p>

<p>要望</p>	<p>このパブリックコメントの機会に改めて教育を考えると、現在、第1次産業の担い手を求める施策をとっていますが、子供には触れさせていない、機会が少ない、農業・漁業に携わる人は自分の子供にはさせたくないと言う。</p> <p>地域リーダー育成と言いながら、高い能力をつけると子供は街に行ってしまう、と積極的に学力をつけることに躊躇する。</p> <p>P29 自らの生き方や在り方に真剣に向き合うというが、人生設計について子供の得る情報は少ない、と感じます。</p> <p>テーマと現実にズレがあるように思います。</p> <p>これはテーマに、または現実の見方に問題があるなど、ズレの箇所はさまざまかもしれません。</p> <p>子供たちの将来にとって有用であるよう、ご指導をお願いします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>要望として受けさせていただきます。(F)</p>
-----------	---	--